

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・職場におけるハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の防止に関する規定を就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則内の、安全衛生として、法令を遵守した労働時間の明示、年1回の全従業員対象の健康診断の実施など安全で衛生的な労働環境を整備している。 ・令和3年度の年度品質目標内の工事部の安全目標として「労働災害(重機災害、墜落・落下災害、交通災害)の撲滅(労働災害発生0件(休業4日以上))」を掲げ、本社事務所に掲示している。 ・担当者による定期的な各現場の安全パトロールの実施、毎朝の各現場のリスクアセスメントの実施、毎月の朝礼での安全に対する注意喚起の実施、安全講習会参加などを行っている。 ・本社敷地内に安全についての掲示を複数掲示し、安全に対する意識づけを行っている。																					
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、従業員(正社員)の公正な待遇を行っている。						5.5				8.5	10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・直属の上司が毎日、聞取り確認を行い、残業時間の管理を徹底している。 ・定期的に総務部長より有給休暇の残日数の通知が行われ、有給休暇の取れていない社員については、総務部長から有給休暇がとれるように直属の上司に配慮の打診を行い、その結果、年々有給取得率が上昇している。 ・就業規則内にて、育児介護休業規定を定め、会社としてワークライフバランスの推進に取り組んでいる。											8.5 8.8	10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新入社員から既存の社員、役員までの全従業員を対象に、毎年6月に年度教育・訓練計画書を作成し、その計画を基に、社歴や役職に応じた社員教育を実施している。 ・技能取得に必要な経費については、会社が全額負担している。																					
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・身体のケアとして、全従業員を対象に年1回の健康診断を会社が全額負担で実施している。 ・健康増進を目的として、全従業員を対象に年6回のゴルフ練習会を実施している。 ・心のケアにつながるよう、外部社労士による従業員一人一人の定期面談を実施している。 ・上記を含めた福利厚生の一環として、研修旅行や年3回の慰労会など複数のイベントを実施し、従業員の楽しめる場を設けている。 ・毎月の朝礼での安全に対する注意喚起で事故やケガ防止を徹底している。																				17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性従業員の積極的な管理職への登用を行っており、女性従業員が管理職に占める割合42.8%。同じく、役員に占める割合50%を達成している。 ・定年後(60歳)の社員については、希望者全員の70歳までの継続雇用の制度とともに、弾力的な勤務体制(短時間等)の制度の整備をしている。																				16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・新型コロナウイルス対策として、除菌剤、マスクの備蓄、及びPCRキットを購入し、従業員に「感染しない・させない」対策を実施していた。現在は、インフルエンザ対策として継続している。 ・内勤の従業員の机には間仕切りを設置している。 ・ウェブ会議スペースの整備をしている。 ・本社事務所内の窓開けや会議室の窓開けを実施している。																					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・業務の効率化として、業務に必要な書類、帳票類をどこでも公式HPから従業員だけがダウンロードできるように設定している。 ・ICTに対応する現場のマニュアルを準備している。 ・R5年2月3日にICTを積極的に活用した工事で、「働き方改革部門」で賞状を受賞している。																					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・2021年にプライト企業に認定されており、現在、更新資料を提出し、更新の結果待ちである。																						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO9001の品質マニュアル内で、環境目標も掲げ実践している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・熊本県の「事業活動温暖化対策計画書制度」と「エコ通勤環境配慮計画書制度」にH26年から任意で参加し、簡易計算シート等を使って、エネルギーの使用量からCO2排出量を算出しており、削減に向けて低燃費車の導入やLED化を進めている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・熊本県の「事業活動温暖化対策計画書制度」と「エコ通勤環境配慮計画書制度」にH26年から任意で参加し、簡易計算シート等を使って、エネルギーの使用量からCO2排出量を算出しており、抑制に向けて本社屋周辺の緑化や低燃費車の導入、LED化を進めている。 ・ビオトープ施工に伴う屋上緑化が完成した後は、エアコンによる消費電力の減少に伴うCO2の削減等を期待している。(2024年末以降)			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・会社管理の田畑での収穫作業を通じ、従業員やその家族が自然と触れ合える環境づくりをすることで、自社活動において環境に配慮する意識を育てている。 ・本社屋屋上にビオトープ施工中である。(2024年末竣工予定。) ・廃プラやレジ袋の削減、ペットボトルの適正な処理を呼びかけている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・PDFデータ化によるペーパーレス化を進めている。 ・裏紙の利用の促進をしている。裏紙専用のプリンターを設置している。 ・ペットボトルの分別を行いながら、ペットボトル削減になるように水筒利用の促進を行っている。会社から水筒も支給している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・会社内のトイレは節水型を設置している。 ・熊本県の豊かな地下水資源を守れるよう、環境に優しい管路更生技術を取り入れている。 ・現場ででた泥水や濁水の排水処理には、ノッチタンクを利用し、分離排水を行っている。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した資材の購入を行っている。 ・環境に配慮した建設機械の購入を行っている。(2020年燃費基準100%達成車) ・事務用品や備品は、FSC認証商品やラベルレス商品の購入を行っている。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・バランスの良い食事を推進することで、好き嫌いによる食品ロスの削減に取り組んでいる。 ・会社管理の田畑で収穫されたものや大量に頂いたり余ったりした青果物などは食品ロスにならないよう従業員全員に配布し会社全体で消費するようにしている。 ・2022年から2024年までの3年間、熊本県のフードドライブ活動に参加しており、今後も参加を予定している。 ・2年連続で食ロスチェックモニターに参加し、食品ロスの現状を把握、削減に取り組んでいる。			1	2			6.4								12.3	14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・本社屋の敷地内に緑化(壁面緑化・天然芝・駐車場周りの植栽)を施している。												11.6 11.7			13.1 13.3	15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

